

長期経営構想と中期経営計画

グループ経営理念

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、
「食と健康」の新たなよろこびを広げていきます。

お客様の求めるものを見すえ、自然のもつ力を最大限に引き出し、それらを確認なかつたちとして生み出していくモノづくりの技術。私たちは、こうした技術によって、お客様の期待にお応えする高い品質を追求してきました。これからも、「夢」と「志」をもって新しいよろこびにつながる「食と健康」のスタイルを一步進んで提案し、世界の人々の健康・楽しさ・快適さに貢献していきます。

長期経営構想 新KV2021

「新キリン・グループ・ビジョン2021」



キリングroup 2016年－2018年中期経営計画

基本方針	構造改革による、キリングgroupの再生
重点課題	<p>事業の位置付けに応じた具体的な戦略を展開する</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ビール事業の収益基盤強化（キリンビール、ライオン酒類事業、ミャンマー・ブルワリー） ▶ 低収益事業の再生・再編（ブラジルキリン、キリンビバレッジ、ライオン飲料事業） ▶ 医薬・バイオケミカル事業の飛躍的成長（協和発酵キリン）
定量目標	<p>収益力改善に最優先で取り組み、 資本効率の向上と株主価値の持続的成長を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ のれん等償却前ROE 15%以上 ▶ 平準化EPS年平均成長率 6%以上 <p><small>※ 上記定量目標達成時の参考値：2018年度 グループ連結営業利益1,600億円以上</small></p>
財務方針	<p>安定的な配当による株主還元の充実と財務の柔軟性の向上を実現する</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 平準化EPSに対する連結配当性向 30%以上 ▶ 有利子負債の返済 <p><small>※ 2017年度 年間配当予想 39円（2016年度 年間配当実績 39円）</small></p>

現状の課題認識と今後の取り組み

▶ ビール事業の収益基盤強化

キリンビール	発泡酒、新ジャンルカテゴリーにおけるお客様の支持回復、国内ビール類市場の変革
ライオン酒類事業	豪州におけるABIブランド販売ライセンス喪失後の利益回復
ミャンマー・ブルワリー	事業基盤拡大によるミャンマービール事業の成長 アジア・オセアニアにおけるビール事業基盤強化

▶ 低収益事業の再生・再編

キリンビバレッジ	ブランド力の更なる強化と継続的なコスト削減
ライオン飲料事業	増収増益への転換
ブラジルキリン	円滑な事業譲渡

▶ 医薬・バイオケミカル事業の飛躍的成長

協和発酵キリン	グローバル戦略品KRN23の欧米における承認
---------	------------------------